

2017年5月

2018年10月改訂, 2019年10月微修正

IJEPS 投稿要項

日本経済政策学会

IJEPS 編集委員長 前田章

The International Journal of Economic Policy Studies (IJEPS)は、日本経済政策学会 (Japan Economic Policy Association: JEPA) の公式英文ジャーナルです。2006年 Volume 1 の発刊以降これまでに Volume 12 までの刊行を重ねてきました。2019年1月より Springer Nature 社より印刷版と電子版の両形式で出版されることになりました。

2017年より、より質の高い論文を多数掲載するべく、投稿と査読の方針を大きく改訂しています。以下に新しい方針を解説いたします。

投稿資格

IJEPS へ投稿するには、原則として(*) 次の内のいずれかの要件を満たす必要があります。

- (1) JEPA の主催する国際会議 (JEPA International Conferences) で口頭発表され、討論者や会議出席者との討論を反映し修正・改訂がなされた論文であること
- (2) JEPA の主催する全国大会 (Annual Meetings) で口頭発表され、討論者や大会出席者との討論を反映し修正・改訂がなされた論文であること

* 要件を満たさない論文の投稿は、それ自体で直ちに不受理となるわけではありませんが、査読に入る前の段階 (first screening) において、国際会議あるいは全国大会の発表論文と同程度あるいはそれ以上の質であるか否かについて厳密な審査がなされます。

投稿締切日

上記資格を満たした論文は、その資格のもととなる会議・大会発生效后 1 年以内に訪れる次の 2 つの締切日のいずれかを目指して投稿することができます。これは発刊の周期に対応しています。

- 毎年7月31日
- 毎年12月31日

上記の締切日までに投稿された論文は随時査読プロセスに組み込まれます。投稿順に処理されますので、出来るだけ早い投稿をお勧めします。

投稿論文の言語

IJEPS は英文ジャーナルであり、掲載論文は英語で書かれたもののみです。しかし、投稿の時点では英語で書かれた論文に加え、日本語で書かれた論文も受け付けます。以下にその詳細を述べます。

英文論文の投稿

英語で書かれた論文の投稿は、次の3通りがあり得ます。

- (a) 上記投稿資格(1)を満たすもの (国際会議で発表されたもの) は、英語で書かれているはずですが、それは、その形のまま投稿して下さい。

- (b) 上記投稿資格(2)を満たすもの（全国大会で発表されたもの）のうち、英語で書かれているものは、上記(a)と同様に、その形のまま投稿して下さい。
- (c) 上記投稿資格(2)を満たすもの（全国大会で発表されたもの）のうち、日本語で書かれているものは、一旦英語に直してから投稿してもよいです。

和文論文の投稿

上記投稿資格(2)を満たすもの（全国大会で発表されたもの）の大部分は、日本語で書かれたものであると考えられます。IJEPS へは、その日本語のまま投稿することができます。その場合、査読プロセスはすべて日本語で行われます。最終的に英文論文に翻訳することを条件に、採択 (accept) が決定されます。これを条件付き採択 (conditional acceptance) と呼びます。和文論文の投稿に際しては、採択後英文化することを十分に念頭に置き、コンパクトな内容、簡潔な表現・文言、無駄のない分量になるようにまとめ直してください。

査読の形態

上記のように、IJEPS への投稿は英語に加え、日本語でも可能です。査読の段階において、英語と日本語の選択が可能です。そこで、査読の形態は次の3通りがあり得ます。

英語で投稿／英語で査読

英語で書かれた論文に対しては、査読者や編集者とのやり取りは、基本的にすべて英語でなされます。ただし、次項のように、査読者や編集者とのやり取りを日本語で行うことも許されます。

英語で投稿／日本語で査読

英語で書かれた論文であっても、投稿者が希望すれば、査読者や編集者とのやり取りを日本語で行うことができます。この場合、査読レポートのコメントや修正要求は日本語で書かれ、それへの対応の説明も日本語で行います。もちろん、論文自体の修正作業は英語です。

日本語で投稿／日本語で査読

投稿の時点で、和文論文であったものは、それ以降の査読プロセスはすべて日本語でなされます。査読レポートのコメントや修正要求は日本語で書かれ、それに対する対応の説明も日本語で行います。論文自体の修正作業も、論文自体が日本語であるため、すべて日本語でなされます。そうした査読プロセスを通して採択される和文論文は、条件付き採択 (conditional acceptance) となります。

条件付き採択 (conditional acceptance)

条件付き採択とは、和文論文に基づいた査読により、正確に英文翻訳をすることを条件にして採択とするものです。条件付き採択決定後は和文論文を英語に翻訳することが義務付けられ、内容を改変することなく正確に翻訳されたと確認された場合に、条件を満たした採択となります。すなわち、

(1)投稿者は自身の責任と費用において、その和文論文を正確に英文論文に直す

(2)IJEPS 編集委員会はその英訳が正確であるかどうかの確認と判定を行う

ことを条件として、採択とするものです。ここにいう「正確」な英訳とは、対応する和文論文の内容を過不足無く、忠実に反映したものであることを指します。また、その大前提として、自然な英語の用法であることが求められます。そこで、IJEPS 編集委員会への英訳版提出と同時に、当編集委員会の認定する英文校正サービスを受けたことの証明を提出し

て頂きます。その校正費用は投稿者の自己負担とします。英文校正サービスの会社は、条件付き採択の通知時に IJEPS 編集委員会より指示します。

上記(1)(2)の条件は、論文内容については一切言及していません。したがって、「条件付き」とは言っても、内容については完全に「採択」が決定されたものと解釈されます。要請があれば、その条件付き採択の時点で、「採択通知 (acceptance letter)」を、IJEPS 編集委員会として発行することもできます。

和文論文の英訳は、上述のように正確でなければなりません。査読を通して採択された内容に対して査読後に改変があってはならないからです。改変のみならず、不正確あるいは曖昧な翻訳が認められた場合は、翻訳のやり直しが要求されることとなります。日本語と英語それぞれの文法には大きな違いがあり、一般的に考えて、完全な逐語訳は困難、さらには不適切な場合も多いと言えます。そうした場合は、センテンスの順序やセンテンス内の主節・従属節の関係などを大きく変えない範囲で、意識することを推奨いたします。

英訳が条件付き採択決定後 1 年経っても完成しない場合は、条件が満たされなかったものとして、その条件付き採択は取消となります。

条件付き採択後の和文論文の取扱い

条件付き採択がなされた場合、その時点で和文論文が完成しています。それを英訳することによって、和文と英文の二つの論文が存在することになります。このうち、英文論文のみが IJEPS に公刊されることになり、和文論文のほうは著者の手元に残ることになります。この和文論文の扱いには注意が必要です。

一般に、学術研究の内容はその記述言語が変わっても不変と考えられます。そのため、英文論文が IJEPS に掲載されることになった場合、その和文論文をそのままの形で他のジャーナルに投稿することは二重投稿にあたります。特に、IJEPS 公刊前あるいは後に他の媒体においてその和文論文が公表されていることがわかった場合には、IJEPS での採択あるいは掲載を取消といたしますのでご注意ください。

最終的に公刊されずに手元に残った和文論文については、IJEPS 編集委員会としては次のように考えます。

- ・ IJEPS 掲載論文の私的な日本語訳として、私的に使用する分には問題はありません。
- ・ しかし、和書の一部として和文論文を収録するなど、それ以上の利用の仕方をする場合は、IJEPS 編集委員会に事前に相談されるよう願います。

投稿に当たっての一般的注意

投稿に当たっては、内容・形式共に十分に吟味し推敲して下さい。特に英文で投稿する場合、必ず専門の英文校正サービスによるネイティブチェックを行ってから投稿するよう願います。英語用法として大きく問題があると認められるものは内容にかかわらず不採択 (reject) となります。

また、論文の分量としては、本文の他、注釈や補遺などすべて含めて、おおよその目安として以下のように定めます。これらの目安から大きく外れる分量の論文は、直ちに不採択 (reject) となりますのでご注意ください。

- ・ 英語で投稿される場合には、6,000~8,000 ワード、ただし図表 1 枚 300 ワードと換算します。
- ・ 日本語で投稿される場合には、上記に対応する日本語の文字数として 10,000~14,000 字とします。

投稿後のスケジュール

投稿された論文は、随時査読のプロセスに入ります。形式的に問題のあるものと、英文の場合の英語用法に問題があると認められるものは、査読に付される以前に IJEPS 編集委員会の判断により、直ちに不採択が決定され通知されます。また、内容面で著しく質が低いと考えられるものは、同様に編集委員会の判断により、直ちに不採択となることがあります。その他の論文は、編集委員会により選出された 2 名以上の査読者によって査読を受けることになります。

第一次の査読結果は、投稿時点から起算して、遅くとも 6 ヶ月以内には、通知がなされます。その結果により、さらに査読が継続されることもあります。

英文による投稿で最終的に採択 (acceptance) となった場合はそのままの形で、和文による投稿で条件付き採択 (conditional acceptance) となった場合は英訳の完成を経て、順次直近の IJEPS 誌に刊行されることとなります。

なお、英文による投稿の場合は、査読の行われる言語が英語、日本語の如何に関わらず、採択の前後での完成版作成に当たり投稿者の費用と責任において再度英文校正サービスを受けることを原則とします。英語が母語あるいはそれに近い投稿者の場合はその限りではありません。

IJEPS の年間発刊数と時期

2019 年以降の IJEPS の発刊は、年 2 回 (1 月と 7 月) を予定しています。

投稿に当たっての提出物

投稿に当たっては、以下の提出物を提出願います。

- (1) カバーレター
- (2) 投稿連絡票 (日本語で査読の場合のみ。英語で投稿/英語で査読の場合は不要)
- (3) 論文本体 (アブストラクト, キーワード, JEL Codes を付けて下さい。著者情報は表紙だけに含め, 本文と分けて下さい。)

投稿先

以下の方法で投稿願います。

Springer Nature の HP にアクセスし, Submission Online からファイルをアップ
<http://springer.com/42495>

問合せ先

IJEPS Editorial Committee, the Japan Economic Policy Association

E-mail: ijeps#jepa-hq.com (# should be replaced by @.)